



病院だより 57

美祢市立病院看護部の紹介

美祢市立病院の看護部には365日、昼夜を問わず、患者さんが安心して受診・入院療養ができるように、看護・介護をする職員が属しています。病院の中で一番多くの職員を有している部門です。現在、看護師81人と介護福祉士、看護補助者21人、合計102人が看護部にいます。看護師の平均年齢は39.7歳、経験年数は10年以上が6割を占めています。

看護部では、看護・介護職として専門的知識・技術の習得と高い倫理観を持った人材を育成することが重要と考え5つのことを行っています。

1つ目は高い実践力を持った職員の育成です。段階的に能力を向上させる教育方法であるクリニカルラダー方式（ラダーⅠ～Ⅳ）を取り入れています。「ラダーⅠは基準化された看護技術が安全にできる。ラダーⅡは正確で安全な看護技術ができる。ラダーⅢは患者さんの個別性を重視した看護技術ができる。ラダーⅣは熟練した看護技術の提供とスタッフへの指導ができる。」としています。経験年数を問わず、必要な実践力を身につけ自・他共に評価された者は次の段階に進んでいきます。ラダーⅣの人材を増やし病院全体の

看護の質を上げることを目的としています。

2つ目は認定看護師の育成です。認定看護師は感染管理2人、皮膚排泄ケア1人、糖尿病看護1人（現在習得中）、認定看護管理1人です。今後さらに増やしていく予定です。認定看護師の活動内容は実践・相談・指導です。感染管理は院内感染、インフルエンザ、ノロウイルス等の予防や対処方法を指導・啓蒙しています。皮膚排泄ケアは高齢者の弱い皮膚や床ずれ、人工肛門への適切なケアを行っています。認定看護師は他の職員の看護実践のモデルとなり、最新情報の発信、困ったときに相談できる重要な役割をしています。

3つ目は看護研究とそれを活用できる人材の育成です。日々実践している看護上の課題をそのままにせず、研究的に取り組むことにより看護の質を上げることが目的です。寝たきりの患者さんの口腔乾燥へのケア方法、肌の乾燥に対するワセリン量の検討、酸素マスクのゴムを工夫し耳介圧迫を軽減する方法等です。課題を改善し続けることは簡単ではありませんが、最近では研究結果を実践に活かし良くなっていくことを実感しています。積極的に全国の学会に発表



美祢市立病院
看護部長 清水政江

する職員が増え、看護に対するモチベーションが上がっています。

4つ目は地域で活動できる人材の育成です。毎年5月の「看護の日」と10月の「福祉の市」は、看護職が交替で地域に出向き、住民の方々と触れ合いながら健康測定や相談を行い学ばせていただいています。

5つ目は看護学生を受け入れての人材育成です。学生の実習指導を通し看護師としての成長を促しています。

これからも、看護部は様々な教育背景を持つ看護・介護職が地域の皆さんから信頼される人材になれるよう、この取り組みをさらに発展させ市民の皆さんの役にたてるように教育をしていきます。